

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和2年 6月 25日

作成者： 大澤昌子

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
社会福祉法人 芦屋みどり福祉会	
事業名	日時(期間), 場所
福祉バザー	2019年6月29日 10時~2時
内容(実績) *実施したことを具体的に	受益者数
障害のある方の生活の場であるグループホーム、就労の場である作業所のメンバーさん達が、地域の皆さんと触れ合うとてもいい機会でした。バザーは、市民に提供していただいた日用雑貨品を販売するだけでなく、カレー、チキンナゲット、たこ焼き、フランクフルト、綿菓子、かき氷など、利用者、保護者、職員で用意し、来ていただいたみなさんに食べていただきました。また、甲南大学吹奏楽部の演奏やビンゴゲームで楽しみました。利用者さんの合唱もしました。子供さんから高齢者の方、芦屋特別支援学校の方など近隣の皆さんが多数遊びに来てくださり、にぎわいました。	利用者・職員・保護者 (75)人
	参加者数
	来場者 (200)人
成果(社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
普段は地域の中で、公園等の清掃作業、夏まつりの縁日出店などで動き回っています、そんな私たちの作業所が、バザー会場であるこの陽光町にあり活動したり、日々の生活をしたりしていることを知っていただける機会になり、またイベントを通し楽しく交流させていただき感謝しています。今後も年に一度、定期的に福祉バザーを開催したいと思っています。	
今後の展望(どのように継続、発展するか)	
芦屋市内のいろんなところで私たちを見かけたら、気軽に声をかけていただきたいです。公園清掃など、たくさんの市民の方のお役にたてる仕事をする事で、やりがいを感じ、自分たちにできる仕事に、これからも励んでいきたいです。地域の一員としてサマーカーニバル、夏まつり等のいろんなイベントにも積極的に参加したいと考えています。たくさんの方に支えられ、見守っていただいている事を感じつつ、これからも日々豊かに暮らしていきたいと思います。地域の方と触れ合える福祉バザーも大切に継続していきたいです。	